

横浜市の訓練実施結果

訓練の目的	横浜市では例年、本市、防災関係機関、地域住民及び関係機関の連携強化と災害対応力強化を目的として、総合防災訓練を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、規模、時間を縮小して訓練を実施した。
日時	令和2年11月8日（日）10:30～11:30
会場	横浜市立根岸中学校（磯子区西町17番13号）
規模	参加機関（団体）13機関 参加人員 約300名
想定地震	相模湾を震源とするマグニチュード8.1、市内最大震度7の地震が発生したという想定で、消防及び行政が地域住民及び関係機関と連携した避難・救出活動等を実施した。
訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 シェイクアウト訓練（地震発生時の安全確保行動） 2 避難、救出救護訓練（住民による避難、安否確認、救出、応急手当） 3 初期消火訓練（スタンドパイプ式初期消火器具や消火器等による初期消火活動） 4 情報収集伝達訓練（被害情報の収集、情報受伝達） 5 救出・救助訓練（倒壊家屋等からの救出） 6 医療救護訓練（トリアージ、災害医療処置） 7 火災防御訓練（放水活動）
訓練の特徴	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域における多様な主体が自発的に行う防災訓練 日中の災害では、多くの人が働きに出ており中学生が「自助」「共助」として大きな力を持つ。今回の訓練では、地域住民と中学生が協力して災害初期対応訓練を行った。 2 自衛隊、警察、消防、医療機関、事業所等が相互に連携した訓練の実施 自衛隊、警察、消防、医療機関、事業所等が救出救助・消火訓練及び医療救護訓練を実施し、相互の連携を確認した。 3 新型コロナウイルス感染防止対策の実施 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止への配慮として、参加機関を限定し、行政機関と地域住民の連携に特化した訓練を実施した。また、会場入場時の検温及び会場内に手洗い場、手指消毒用アルコール液を設置し、感染防止対策を徹底した。

<p>参加機関</p>	<p>【地域住民】 根岸連合町内会自治会連合会、横浜市立根岸中学校</p> <p>【行政機関】 陸上自衛隊第 31 普通科連隊、神奈川県警察本部、磯子警察署</p> <p>【指定公共機関】 日本赤十字社神奈川県支部</p> <p>【指定地方公共機関】 横浜市医師会（磯子区医師会）</p> <p>【横浜市】 危機管理室、磯子区役所、消防局、磯子消防署</p> <p>【その他の公共団体等】 磯子消防団</p> <p>【医療関係】 横浜市薬剤師会（磯子区薬剤師会）</p>
<p>協力機関</p>	<p>なし</p>